

医療費を節約しよう

健康は日常の節制が大切

病氣や、けがをしたときはすぐお医者さんへ、というように、いまや国民健康保険制度は、わたしたちの生活のなかに深く根をおろし、なくてはならない制度となっています。しかし、

○毎年増える医療費
一方では増え続ける医療費のため、国保財政は非常に苦しくなっています。自然増だけでは毎年一〇％、お医者さんに支払う医療費の値上がりがあると、その分がさらに増えていきます。とくにここ数年、諸物価高騰の影響に医療費の大巾な値上げがありました。

これに加えておとしよりのための医療制度ができて老人医療費の無料化が実現いたしました。

その結果国保の医療費全体の増加のうち三〇％くらいを老人の医療費が占めています。

このように医療費がどんどん増えてゆくとうなるでしょうか。私たちの国保が健全に運営される



春の交通安全健民運動が4月6日から4月15日までの10日間、全国一斉に行なわれます。県民総ぐるみによる防止活動により交通事故も8年間減少をなし遂げています。しかし、現在なお毎日のように交通事故が発生し多くの人々が尊い命を失い、また傷つけられることは、真に悲しいことです。交通事故の少ないふるさととは家庭内での交通安全への配慮が最も大切です。

交通安全「愛の一声」運動をもとに家族の安全を守る主役として婦人の力を原動力としてこの運動を進め、家族ぐるみでいたしたい交通安全事故を追放しよう。

家庭からすすめる交通安全

- 家族が出かける時、お互い交通安全「愛の一声」をかけあいましょう。
- 夕食時、家族団らんの時などに交通安全や交通事故を防ぐ方法について話し合しましょう。
- 飲酒した人には絶対に車の運転をさせないようにしましょう。
- 来客には帰りに注意するよう一声かけましょう。
- 子どもの遊び場や老人の夜間外出には特に気をつけましょう。
- いつもさわやかな気分での運転ができるよう、みんなで心くばりしましょう。
- 交通ルールがよく守れるよう大人が手本をしましょう。

無事故でつくる
家庭の笑い

●教育の振興

人間形成に重要な役割を果たす教育につきましても、家庭、学校、社会が共通した教育目標の下に、心身ともにたくましく、創造性のある個性豊かな人間の育成をめざすと共に、人間尊重の基盤に立つての、生涯教育の拡充を図ることが課題であります。

教育環境の整備については、年次計画のもと、一層の推進を図ることとしており、給食センターの排水は、関係住民の方には、非常に迷惑をかけておられますが、これの解消をはかるべく、一、〇〇〇万円の事業費で、排水処理施設の整備を行います。

○明倫小学校費 一五、七六八
○浅田小学校費 一二、五三九
○中学校費 一六、九三五
○幼稚園費 一九、五三六
○社会教育費 三二、二二二
○保健体育費 五九、〇二七
(給食センター費等)

以上の内容をもちまして、予算の編成を行いました結果、一般会計予算の総額は、十四億四千八百七十七万三千円となり、これを前年度当初予算と比較しますと、三億四千三百三十九万二千円の増加となり、三一・一パーセントの増となっております。

(注) 上地区簡易水道布設費は特別会計予算です。

家庭からすすめる

春の交通安全健民運動

四月六日～十五日まで

ために、みんなが医療費に関心をもち、少しでも医療費を節約できるように今一度考えてみましょう。

そのためには、次の九項目に注意して自分たちの保険がよりよくなるようにいたしましょう。

- 受診のときは、被保険者証を必ずお医者さんの窓口へ提出する。
- 受診したら必ず一部負担金を支払う。
- 受診のとき、注射や薬の注文はやめる。
- けんかをしたり酔っぱらったり、あるいは不行跡による事故は

保険が使えない。

- 美容が目的の整形手術、健康診断、正常な出産は保険では受診できない。
- 単なる疲労回復や予防のための治療は保険では受けられない。
- 診療が終わったら、被保険者証に必要なことを記録してもらい必ずもって帰る。
- お医者さんを信頼し、みだりに病院や診療所を転々と変えない。
- お医者さんに意見書や、証明書を発行してもらったときは、その内容に注文をつけない。

善行章交付

明倫小学校

- 六年 中本 淑代 生島
- 三年 中本 美枝 生島
- 三年 大谷ひろみ 津雲

昭和五十三年二月十七日午後四時頃、市佐伯薬局うら県道上で現金三百四十円を拾って宗頭警察官駐在所へ届け出た。

この善行は表彰に値するものと生島・津雲健全育成会及び宗頭警察官駐在所が認め推薦して表彰されるもの。